

Q8

麻疹や水痘などのウイルス性疾患に罹患後は、どのくらいの間隔をあければ、次の予防接種が可能でしょうか。生ワクチン及び不活化ワクチンについて教えてください。

A

麻疹に関しては治癒後4週間程度、その他（風疹、水痘及びおたふくかぜ等）の疾病については治癒後2～4週間程度の間隔をあければ、生ワクチン・不活化ワクチンともに接種ができるとされていますが接種医が罹った疾患の重症度により個別に適切な時期を決定することが必要です。発病直後に生ワクチンを接種しますと、ワクチンウイルスが自然感染のウイルスによって干渉作用を受けることがありますので、効果が期待できないこととなります。また、麻疹罹患者は一時的な細胞性免疫の低下が起きているので、このような状態の時にワクチンを接種することは、お勧めできません。（参照 p7, Q6 p66, Q13）